ど召されぬ い季節に 続 い ん、 て ます こんに よう なり れぐ ました。 が ち 春 は。 れもご自愛 が待ち遠 風邪 寒 な 日 損 ことです。 得、 身の回

ります。 話 2 日 ことを 、きず、 0 省かれて「不思議」。普段の会 いうことです。不思議です 本人の生活に溶け込んでいる ハって 用 教 日 もともと 常用 中でもよく使う言葉ですね。 0 日 用 語 (語をご 常用 指します。 教用語的、 VI は 「不思議」も仏教用語で 言語でも表現できない 知らず とも言います る仏教用語。 ほ 語 は、 んとうにたくさんあ 語に含まれて 0 紹 中 思い測ることが 知らず 介し 、漢語的には「不 仏の 含ま 始 が、 それだけ 教えや智 れて のうちに め いる仏 て 可 ねえ。 四 VI る う そ 万、 正 恒 L 京

そういう仏さまの とで思い に結 生ま ることが、 決してマ 分ではマイナスだと思っ びつくことも れた言葉で は、 ŧ 本当 L 1 ナスでは な 仏さまの視点 か 計らい つ 「不思議」 た ありま なく、 新たな展 <u>(</u>は す。 から か あ な て 大きさで な 0 0 単

を判断、 て受け止める心、それが仏心(ぶっ さまの ん)です。 好き嫌いで「良い」「悪い」 することなく、 「不思議」 ŋ 0 出来事を、 な計らいとし 全ては 自 分 仏 0

ださ

表す単位をどこまで言えるでしょ 方、 か。 ところで、 0 次は「兆 ま そして、 で つまり、 くと、 数字の そ 十万、 0 桁 次 (it は 百、 百 た 億」。 万、 を

共有しています ここまではたぶ (けい)」。 が、 ん多く 兆 0 0 次 は が

そうぎ) て、その次が何と「不可思議 (じょう) 京 しぎ)」 河沙(ごうがし どうでもいいような話です (せ に続くのは <u>ر</u> ۲ 那由多 溝 載 (こう) (さい) (なゆた)」とき _ 垓 や 阿 澗 <u>(</u>が 極 僧祇 (かん) <u>ر</u> ر (ごく) 3, が (あ 穣

現

元するの

は

難し

いとい

うこと 言語で表

か

思い測ったり、

自

可思議」、 想像でき 析です 六十 つまり、 位でもあ 四 が な 乗を表します。 つ 「不思議」 い まり まさに「不思議」「不 無限 ŋ 表現できな 具体的には 0 ような大き は 数字の 何とも 十 桁

に

※

そ

れで

ます。 「不可思議」 る場合は 4 に、 数字の 「不思議」 という言葉で使わ 析として使わ とは略さず

す。 学啓蒙」の 世傑 可思議」が数学用 紀 生涯をかけました。 の解法なども論じ、 れる契機になっ から十四 仏 教用 朱世傑は四次元連立方程式 î ゅせ 語として登 世紀の元の数学者、 中で用いた時 V けつ た 0 語として使 は、 場 数学教育 が **した** 自著 からで 十三 算 朱 世 わ

劫記」 位 世 代になって伝わりました。 が登場します。 年(一六二七年)に著し 紀の数学者、 その内容は、 の中に 「不可思議」 吉 日本にも 田 光由 江 P 0 十 時 単

四

思議なことに、 こと あります。 15 じ なことで 日常用語の 転じましたが、 て、 言語では表せな ること 「異様なこと」 日常用 ŧ 不思議も仏教用語 語的 中 本当にたくさん 0 そ 仏 教 を表す言葉 は れも不思議 用 「怪し 語。 不

はまた来月、 これまた不思議。 いこと お楽 山が寛永 から た | 塵 しみ Ż

☎052-757-1955 Kouhei@oh-Kouhei.org

発行編集部

大塚耕平事務所







